

協力

73



伝道団体連絡協議会

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室
Tel. 03-3291-5035
www.dendankyo.com

FRONT ESSAY

最も小さい者たちのひとりに

8月に明治安田生命が、夏休みの過ごし方についてのアンケート結果を発表しました。「帰省」が4割以上で過去最高、理由は「親・兄弟と会いたいから」が8割以上でした。

「今回の震災が自分の『大切な人』について改めて考えるきっかけとなり、夏休みを利用して『大切な人』に会うため、帰省したいと思ったのかもしれない」と分析していました。

また、新聞によると、東日本大震災をきっかけに、生涯のパートナーを得ようとする人が増えているそうです。

「都市部の女性を中心に結婚相談所への入会が相次ぎ、会員同士で成婚して退会するケースが急増。婚約指輪の売れ行きも伸びた」

「将来への不安が膨らみ、家族を作ることの大切さを痛感した。人との絆を結ぶ努力をしたい」

「震災後の余震や計画停電などで不安を感じ、安心感を得るために家庭を持ちたいと考えた」といった声が寄せられている。

アメリカでは10年前、9.11テロの後に、結婚関連のビジネスが賑わったそうです。

結婚すれば家族が出来ます。震災で孤独や不安に悩まされている人達にとって、結婚は、最良の解決法と考えられているようです。

しかし、結婚は必ずしも孤独や不安の解決にはなりません。「独りだと淋しい、二人だと苦しい」と聞いた事がありますが、結婚していようとしてまいと、私達は孤独や不安から逃れる事は出来ません。

孤独や不安の中にいる人々を探し求めて、手を差し伸べて下さるお方がイエス様です。私達の羊飼いであるイエス様は、99匹の羊を残して、失われた1匹を探しに出掛けて下さいます。しかもその羊飼いが「羊のためにいのちを捨てます。」(ヨハネ10:11)とは、真の羊飼いであるイエス様のお言葉です。イエス様は、本当の神様を認める生き方が出来ない私達の罪の問題を解決する為に、命を捨てて下さいました。

そのイエス様が、「最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。」(マタイ25:40)と教えられます。未曾有の大震災を経て、無力感に苛まれている方がいるかも知れませんが、何かをしたいのだけれど何をしたいのか分からない、そんな方もいらっしゃるかも知れませんが、イエス様は「最も小さい者たちのひとりに」とお語りになります。あなたの身近な人に、出来る範囲で、出来る事を、イエス様は願っておられます。電話をかける事かも知れない、手紙を書く事かも知れない。救援物資を届ける事かも知れないし、経済的必要を届ける事かも知れません。ひとつだけ誰にでも出来る事があります。それは祈る事です。

日本のキリスト者が、伝道団体が、教会が心を一にして、神様の前に、この国の復興の祈りをお捧げ出来るとしたら何と素晴らしい事でしょう。

今、日本にいる全てのキリスト者に「最も小さい者たちのひとりに」と、イエス様が語り掛けていらっしゃるのではないのでしょうか。

お茶の水クリスチャンセンター
宣教部

岡田義和



●アジア・アクセス JGCI ネットワーク

1. 各地の教会ネットワーク、特に宮城宣教ネットワークの働きが 祝され、被災地に多くの教会が生み出され、復興にまた日本の 宣教に貢献出来る様に。
2. 2011年オールJGCI 全国集会(11/28-30)が祝される様に。
3. アジアン・アクセスの牧師研修等の働きがアジア全土に拡大し、 貢献出来る様に。

●いのちのこぼ社

東日本復興支援「LOVE JAPAN」プロジェクトで、100万枚トラクト(10種類)を制作予定しています。宣教の働きが導かれますように。

●教会インフォメーションサービス

1. 今年の年次集計のためのデータなどを集めている。さらに多くのレスポンスがあるように。
2. 新しいヴィジョンが与えられて、そのヴィジョンに向かって前進を始めました。しっかりとした歩みができるように。
3. 教会とともに歩む教会インフォメーションサービスとして、前進できるように。

●クリスチャン文書伝道団(CLC)

- ・クリスマスセールの販売が祝されますように。また、文書伝道の働きをされている諸団体の上に主の豊かな祝福があり、その働きが守られますように。
- ・多くのスタッフが引退時期を迎えます。良き後任者が与えられ、引継もスムーズに行われますように。
- ・将来への不安があり、希望のないと感じている人々に様々な形で、伝道がなされ、主イエス・キリストの福音が受け入れられますように。

●国際ナビゲーター

11月上旬に若手スタッフを対象としたトレーニング・プログラムを予定しています。参加する一人ひとりがますます主によって整えられ、霊的な働き人となることができるようお祈り頂けましたら幸いです。

●新生宣教団

HOPE for LIVINGキャンペーンを継続し、10月からは東北地区限定でさらにお知らせすることになりました。被災された方々の物資的必要と同時に、心の糧をお届けしていきます。全世界で聖書を持つことの困難な地域にある兄弟姉妹のために、引き続き聖書制作を進めてまいります。合わせてお祈り頂ければ幸いです。

●全日本リバイバルミッション

9月9日～10月2日まで九州7県の各教会で行なった「九州リバイバルミッション」。そこで救いの決心をされた方々が、確実に教会につながりますように。

●総動員伝道

- * 長期計画の立案(東日本の伝道協力を含めて)
- * 中山道 Walk with Jesus 9月5日から実施。旅の安全、迎えてく ださる教会での交流、歩きながらの伝道。
- * 経済の必要が満たされるように。
- * 円高のため派遣されてきている宣教師(天草)への補助が必要。 支援できるように。

●日本聖書協会

日本聖書協会では東日本大震災で被災された子どもたちに「マンガ聖書」「絵本聖書」を、聖書を失くされた教会に「備え付け用の聖書」を届ける支援活動を行っています。今後も支援の働きがさらに広がり、守られますように。また、聖書の新翻訳事業が祝されますように。

●PBA・太平洋放送協会

PBAは今年創立60年を迎えました。9月にいのちのこぼ社から60周年記念誌「世の光として輝くために・メディア伝道の開拓者たちの夢と祈り」が出版されました。10月7日には記念式典を行いました。これからも、ラジオ番組「世の光」、テレビ番組「ライフ ライン」の制作 放送を通し、日本の宣教のため、努めることが出来ますように。

●高校生聖書伝道協会(hi-b. a.)

「hi-b. a. は日本での宣教を開始して60年を迎え、9月には60周年記念式典を行いました。さらにこの先に向けて主のみこころを祈り求めつつ、高校生の救いと成長のために用いられるようにお祈りください。代表スタッフの荒井恵理也の病気の癒しのためにも、続けてお祈りください。」

2011年度 伝団協役員の紹介

4月22日(金)伝団協総会にて選出され、承認されました。

会 長	： 姫井 雅夫(総動員伝道)
総 務	： 岡本 信弘(プレイズ出版)
会 計	： 中野 覚(クリスチャン文書伝道団)
研 修	： 田村 治郎(日本国際飢餓対策機構)
書 記	： 加藤 太郎(日本聖書協会)
機関誌印刷	： 国井 昌光(新生宣教団)

『協力』73号

発行日:2011年10月20日

発行所:伝道団体連絡協議会 郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 614号室
TEL.03-3291-5035 FAX.03-3291-5266 www.dendankyo.com info@dendankyo.com

発行者:姫井雅夫

印刷:新生宣教団(1,000部)

協力

73



伝道団体連絡協議会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室

Tel. 03-3291-5035

www.dendankyo.com

FRONT ESSAY

最も小さい者たちのひとりに

8月に明治安田生命が、夏休みの過ごし方についてのアンケート結果を発表しました。「帰省」が4割以上で過去最高、理由は「親・兄弟と会いたいから」が8割以上でした。

「今回の震災が自分の『大切な人』について改めて考えるきっかけとなり、夏休みを利用して『大切な人』に会うため、帰省したいと思ったのかもしれない」と分析していました。

また、新聞によると、東日本大震災をきっかけに、生涯のパートナーを得ようとする人が増えているそうです。

「都市部の女性を中心に結婚相談所への入会が相次ぎ、会員同士で成婚して退会するケースが急増。婚約指輪の売れ行きも伸びた」

「将来への不安が膨らみ、家族を作ることの大切さを痛感した。人との絆を結ぶ努力をしたい」

「震災後の余震や計画停電などで不安を感じ、安心感を得るために家庭を持ちたいと考えた」といった声が寄せられている。

アメリカでは10年前、9.11テロの後に、結婚関連のビジネスが賑わったそうです。

結婚すれば家族が出来ます。震災で孤独や不安に悩まされている人達にとって、結婚は、最良の解決法と考えられているようです。

しかし、結婚は必ずしも孤独や不安の解決にはなりません。「独りだと淋しい、二人だと苦しい」と聞いた事がありますが、結婚していようとしていまいと、私達は孤独や不安から逃れる事は出来ません。

孤独や不安の中にいる人々を探し求めて、手を差し伸べて下さるお方がイエス様です。私達の羊飼いであるイエス様は、99匹の羊を残して、失われた1匹を探しに出掛けて下さいます。しかもその羊飼いが「羊のためにいのちを捨てます。」(ヨハネ10:11)とは、真の羊飼いであるイエス様のお言葉です。イエス様は、本当の神様を認める生き方が出来ない私達の罪の問題を解決する為に、命を捨てて下さいました。

そのイエス様が、「最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。」(マタイ25:40)と教えられます。未曾有の大震災を経て、無力感に苛まれている方がいるかも知れませんが、何かをしたいのだけれど何をしたいのかわからない、そんな方もいらっしゃるかも知れませんが、イエス様は「最も小さい者たちのひとりに」とお語りになります。あなたの身近な人に、出来る範囲で、出来る事を、イエス様は願っておられます。電話をかける事かも知れない、手紙を書く事かも知れない。救援物資を届ける事かも知れないし、経済的必要を届ける事かも知れません。ひとつだけ誰にでも出来る事があります。それは祈る事です。

日本のキリスト者が、伝道団体が、教会が心一つにして、神様の前に、この国の復興の祈りをお捧げ出来るとしたら何と素晴らしい事でしょう。

今、日本にいる全てのキリスト者に「最も小さい者たちのひとりに」と、イエス様が語り掛けていらっしゃるのではないのでしょうか。

お茶の水クリスチャンセンター
宣教部

岡田義和



●アジア・アクセス JCGI ネットワーク

1. 各地の教会ネットワーク、特に宮城宣教ネットワークの働きが 祝され、被災地に多くの教会が生み出され、復興にまた日本の 宣教に貢献出来る様に。
2. 2011年オールJCGI 全国集会 (11/28-30) が祝される様に。
3. アジアン・アクセスの牧師研修等の働きがアジア全土に拡大し、 貢献出来る様に。

●いのちのこぼ社

東日本復興支援「LOVE JAPAN」プロジェクトで、100万枚トラクト (10種類) を制作予定しています。宣教の働きが導かれますように。

●教会インフォメーションサービス

1. 今年の年次集計のためのデータなどを集めている。さらに多くのレスポンスがあるように。
2. 新しいビジョンが与えられて、そのビジョンに向かって前進を始めました。しっかりとした歩みができるように。
3. 教会とともに歩む教会インフォメーションサービスとして、前進できるように。

●クリスチャン文書伝道団 (CLC)

- ・クリスマスセールの販売が祝されますように。また、文書伝道の働きをされている諸団体の上に主の豊かな祝福があり、その働きが守られますように。
- ・多くのスタッフが引退時期を迎えます。良き後任者が与えられ、引継もスムーズに行われますように。
- ・将来への不安があり、希望のないと感じている人々に様々な形で、伝道がなされ、主イエス・キリストの福音が受け入れられますように。

●国際ナビゲーター

11月上旬に若手スタッフを対象としたトレーニング・プログラムを予定しています。参加する一人ひとりがますます主によって整えられ、霊的な働き人となることができるようお祈り頂ければ幸いです。

●新生宣教団

HOPE for LIVINGキャンペーンを継続し、10月からは東北地区限定でさらにお知らせすることになりました。被災された方々の物質的必要と同時に、心の糧をお届けしていきます。全世界で聖書を持つことの困難な地域にある兄弟姉妹のために、引き続き聖書制作を進めてまいります。合わせてお祈り頂ければ幸いです。

●全日本リバイバルミッション

『協力』73号

発行日:2011年10月20日
 発行所:伝道団体連絡協議会 郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 614号室
 TEL.03-3291-5035 FAX.03-3291-5266 www.dendankyo.com info@dendankyo.com
 発行者: 姫井雅夫
 印刷: 新生宣教団 (1,000部)

9月9日～10月2日まで九州7県の各教会で行なった「九州リバイバルミッション」。そこで救いの決心をされた方々が、確実に教会につながりますように。

●総動員伝道

- * 長期計画の立案 (東日本の伝道協力を含めて)
- * 中山道 Walk with Jesus 9月5日から実施。旅の安全、迎えてく ださる教会での交流、歩きながらの伝道。
- * 経済の必要が満たされるように。
- * 円高のため派遣されてきている宣教師 (天草) への補助が必要。 支援できるように。

●日本聖書協会

日本聖書協会では東日本大震災で被災された子どもたちに「マンガ聖書」「絵本聖書」を、聖書を失くされた教会に「備え付け用の聖書」を届ける支援活動を行っています。今後も支援の働きがさらに広がり、守られますように。また、聖書の新翻訳事業が祝されますように。

●PBA・太平洋放送協会

PBAは今年創立60年を迎えました。9月にいのちのこぼ社から60周年記念誌「世の光として輝くために・メディア伝道の開拓者たちの夢と祈り」が出版されました。10月7日には記念式典を行いました。これからも、ラジオ番組「世の光」、テレビ番組「ライフ ライン」の制作 放送を通し、日本の宣教のため、努めることが出来ますように。

●高校生聖書伝道協会 (hi-b. a.)

「hi-b. a. は日本での宣教を開始して60年を迎え、9月には60周年記念式典を行いました。さらにこの先に向けて主のみこころを祈り求めつつ、高校生の救いと成長のために用いられるようにお祈りください。代表スタッフの荒井恵理也の病気の癒しのためにも、続けてお祈りください。」

2011年度 伝団協役員の紹介

4月22日 (金) 伝団協総会にて選出され、承認されました。

会 長	: 姫井 雅夫 (総動員伝道)
総 務	: 岡本 信弘 (プレイズ出版)
会 計	: 中野 覚 (クリスチャン文書伝道団)
研 修	: 田村 治郎 (日本国際飢餓対策機構)
書 記	: 加藤 太郎 (日本聖書協会)
機関誌印刷	: 国井 昌光 (新生宣教団)